



徳島大学病院 緩和ケアセンター



緩和ケアセンターの紹介

当院は都道府県がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供しています。がん治療と並行して、治療開始時から緩和医療・緩和ケアの適切な提供と円滑な地域連携を目的に、1997年に緩和ケア室を開設し、現在は緩和ケアセンターとして活動しています。

緩和ケアとは、がんに伴う痛みや吐き気、息苦しさなどの『体のつらさ』だけでなく、今後への不安や眠れない、気分が落ち込むなどといった『こころのつらさ』、自宅で過ごしたいがどうすればいいかわからないなどの『生活のつらさ』など、様々なつらさを和らげ、がん患者さんやそのご家族にとって可能な限り良好な生活の質を実現させるための医療です。

緩和ケアセンターでは、少しでも“その人らしく”過ごせるよう、様々な苦痛を緩和し、本来持っている力を最大限に発揮できるように、患者さんと一緒に考えサポートしています。



「緩和ケアチーム」は、緩和ケアに関する専門的な知識や技術を持った医師や看護師、薬剤師、心理士、医療ソーシャルワーカーといった多くの職種が集まって構成されています。

「がん」と診断されて困っていることはありませんか？

- ・痛みが辛い
- ・息苦しさがある
- ・吐き気がある
- ・不安やイライラがある
- ・夜眠れない
- ・気持ちが落ち込んで何もする気が起きない
- ・これからの療養先をどうしたらよいのか
- ・自宅で過ごしたいが方法がわからない
- ・生活の心配がある

など

緩和ケアは、がんの治療とともに つらさを感じるときにはいつでも受けることができます。まずは、担当医か担当看護師へご相談ください。

